



整理番号	HT25025	分野	考古、自然
------	---------	----	-------

札幌大学

古代人はどのようにして生き抜いたのか：古代人の生活を復元する

先生(代表者)	高宮 広土(たかみや ひろと) 地域共創学群・教授			
自己紹介	<p>大学の頃、人類学という授業で「人の歴史の99%以上は狩猟採集の時代」と習ったときから、「大昔」に興味を持つようになりました。その中でも、特に今回皆さんに紹介する「昔の人はどのように生き抜いたのだろうか」というテーマがとても魅力的でした。皆さんが今日まで生き抜き、これからも生き抜くように、大昔の人たちも、生き抜いたのです。だから、今私たちがいます。また、過去を学ぶことは、現代と未来を理解する近道、とも習いました。確かに、過去を理解することで、現代や未来がいろいろとみえることがあります。考古学や人類学はとても面白い学問分野です。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成 25 年 09 月 07 日(土)	(対象)	高校生	(人数) 25 名
集合場所・時間	札幌大学 6号館	(集合時間)	10:30~11:00	
開催会場(集合場所)	<p>札幌大学 住所: 〒062-8520 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3 番 1 号 アクセスマップ: http://www.sapporo-u.ac.jp/univ_guide/campus/misc/su-campus.pdf</p>			
内 容				
<p>文字のない、大昔の人たちはどのように生き抜いたのでしょうか。この疑問に答えてくれるのが、考古学や人類学という学問分野です。古代の人はどのような道具を使ったのでしょうか。また、生きるためにどのようなものを食べたのでしょうか。さらに、このような道具を使った人たちはどんな顔つきをしていたのでしょうか。大昔の人たちが残していった土器等からは、彼らの生きるための努力がみられることもあります。また、彼らがいつ頃生きていたのかを理解することもできます。土器等と一緒に、動物の骨や貝殻あるいはドングリやお米等(種子)が見つかることがあります。動物の骨、貝殻、および種子はどのように分析するのでしょうか。細かい動物の骨、貝殻、種子はどのように回収するのでしょうか。天気がよければ、その方法であるフローテーション等をお見せします。最後に、遺跡からは、</p>				
				
				大昔のお米
<p>人骨も発見されることがあります。人骨って、気持ち悪く感じる人もいますが、顔つき、性別、年齢、過去の病気等、沢山の情報が得られます。今回、それぞれの分野のプロにより、皆さんに最新の分析方法等をお見せします。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
10:30-11:00 受付(札幌大学6号館1階フロアー集合)				

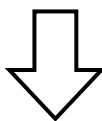
11:00-11:30 開会式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)	筆記用具
11:30-12:15 講義:考古学・人類学からわかる過去のヒトと文化	
12:15-13:00 ランチ	特記事項
13:00-13:45 フローテーション等(晴天の場合)実施 札幌大学埋蔵文化財展示室見学(雨天の場合)	
13:45-14:00 移動・休憩	
14:00-14:30 5 班に分かれて、土器(人工遺物)、脊椎動物、人骨、植物種子分析の実習	
14:30-15:00 同上	
15:00-15:20 休憩(クッキータイム)	
15:20-15:50 5 班に分かれて、土器(人工遺物)、脊椎動物、人骨、植物種子分析の実習	
15:50-16:20 同上	
16:20-16:30 休憩	
16:30-17:00 5 班に分かれて、土器(人工遺物)、脊椎動物、人骨、植物種子分析の実習	
17:00-17:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
17:30 終了・解散	
注意:5 班に分かれて、ローテーション式に それぞれの分野を体験する)	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	学術交流オフィス:栄田 晴美
住 所 :	札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3-1
TEL 番号 :	011-852-9150
FAX 番号 :	011-856-8264
E - m a i l :	Sakaeda Harumi <sakaeda@ofc.sapporo-u.ac.jp>
申込締切日 :	平成 25 年 08 月 09 日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
高宮広土	H21-25	新学術領域	21101005	琉球列島先史・原史時代における環境と文化の変遷に関する実証的研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。